

世界新時代株式ファンド (予想分配金提示型) 【愛称：World Change】

追加型投信／内外／株式 日経新聞掲載名：世界新時代分

第11作成期 2025年7月29日から2026年1月26日まで

第61期 決算日
2025年8月26日

第62期 決算日
2025年9月26日

第63期 決算日
2025年10月27日

第64期 決算日
2025年11月26日

第65期 決算日
2025年12月26日

第66期 決算日
2026年1月26日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、世界の取引所に上場している株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

当作成期の状況

基準価額（作成期末）	10,819円
純資産総額（作成期末）	3,497百万円
騰落率（当作成期）	+0.4%
分配金合計（当作成期）	600円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。



〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

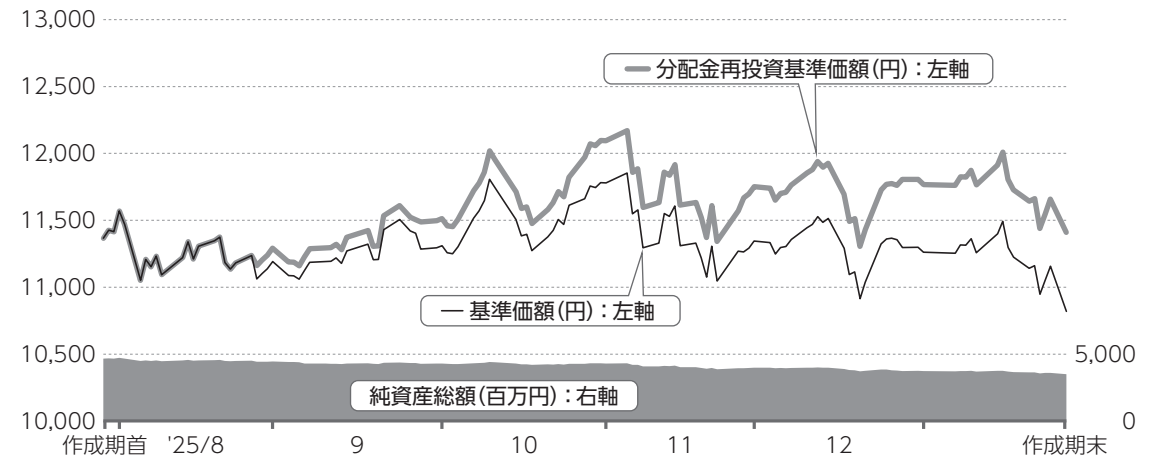
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2025年7月29日から2026年1月26日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	11,366円
作成期末	10,819円 (当作成期既払分配金600円(税引前))
騰落率	+0.4% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかにについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2025年7月29日から2026年1月26日まで)

当ファンドでは、マザーファンドへの投資を通じて、新時代への変化を体現するビジネスを行う企業に着目します。新時代への変化によって、成長が見込まれる投資テーマの中から、独特の商品・サービスやビジネスモデルにより、競争を勝ち抜く企業に集中投資を行います。

実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 欧米の企業業績が底堅く推移したことや、米国が利下げを実施したこと
- 為替市場が米ドル高・円安で推移したこと

下落要因

- 米中や欧米間での地政学リスクの高まりによって、世界株式市場が一時、調整したこと

1万口当たりの費用明細（2025年7月29日から2026年1月26日まで）

項 目	金額	比率	項目の概要
(a) 信 託 報 酬	89円	0.789%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数） 期中の平均基準価額は11,324円です。
（ 投 信 会 社 ）	(43)	(0.384)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(43)	(0.384)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.022)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.014	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(2)	(0.014)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(0)	(0.000)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 公 社 債 ）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(d) そ の 他 費 用	1	0.009	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.007)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	92	0.811	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

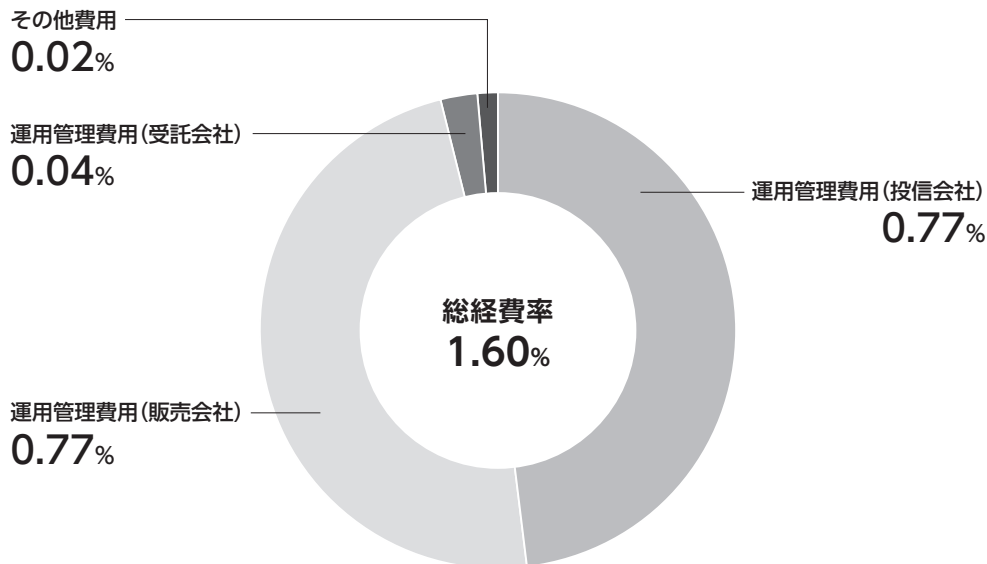
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.60%です。

最近5年間の基準価額等の推移について（2021年1月26日から2026年1月26日まで）

最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額は、2021年1月26日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2021.1.26 決算日	2022.1.26 決算日	2023.1.26 決算日	2024.1.26 決算日	2025.1.27 決算日	2026.1.26 決算日
基準価額 (円)	11,769	9,329	8,801	11,574	11,907	10,819
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	1,450	0	470	2,000	910
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	−10.4	−5.7	37.3	21.4	−1.4
純資産総額 (百万円)	2,341	6,435	5,333	5,318	5,394	3,497

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について(2025年7月29日から2026年1月26日まで)

世界の株式市場は上昇しました。為替市場では米ドルに対して円安となりました。

株式市場

世界の株式市場は総じて上昇しました。主な市場では米国株式や欧州株式が上昇しました。

米国株式は、AI関連市場で高成長が継続していることが好感されたほか、中央銀行による利下げの実施や追加利下げ期待によって上昇しました。

欧州株式は、ウクライナや中東での地政学リスクの低下期待や、底堅い企業決算によって上昇しました。

為替市場

米ドル・円は、日本の財政拡張懸念などを受けて米ドル高・円安が進展しました。

ポートフォリオについて(2025年7月29日から2026年1月26日まで)

当ファンド

期を通じて「世界新時代株式マザーファンド」を高位に組み入れることにより、世界の株式市場への投資を行いました。

世界新時代株式マザーファンド

「企業戦略」では、中小企業向け会計ソフトや個人向け税務申告ソフトで高い競争力を持つインテュイット(米国)を新たに組み入れた一方で、生成AIの性能が急速に向上する中で競争力の低下が懸念されるアドビ(米国)やワークデイ(米国)などを全売却しました。引

き続き、生成AIへの投資や活用によって恩恵を期待できる生成AI関連銘柄のウェイトを高く保有しています。

「グリーンテック」に関しては、データセンターの発熱量の拡大によって重要性が増している温度管理の分野において高い競争力を持つパーティブ・ホールディングス(米国)およびトレイン・テクノロジーズ(米国)に加え、データセンターの消費電力が拡大するなかでクリーンな電源として需要拡大が期待できるコンステレーション・エナジー(米国)を新規に組み入れました。再生可能エネルギー投資や電力インフラ更新が拡大する中で重要性が高まっているグリッドインフラストラク

チャー関連のウェイトを高く維持しています。
「ライフスタイル」では、業績は堅調ながら成長期待は株価に織り込まれていると判断したコストコホールセール(米国)やビザ(米国)を全売却しました。長期的に価値の向上が期待できるＩＰ(知的財産)やコンテンツ関連に

注目しています。
「医療・健康」では新規購入や全売却をした銘柄はございません。引き続き米政権の政策不透明感などから全体ではウェイトを抑制しています。

ベンチマークとの差異について(2025年7月29日から2026年1月26日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2025年7月29日から2026年1月26日まで)

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。
なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項 目	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期
当期分配金	100	100	100	100	100	100
(対基準価額比率)	(0.90%)	(0.88%)	(0.85%)	(0.88%)	(0.88%)	(0.92%)
当期の収益	－	5	100	－	5	－
当期の収益以外	100	94	－	100	94	100
翌期繰越分配対象額	1,630	1,536	1,839	1,739	1,644	1,544

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き「世界新時代株式マザーファンド」を高位に組み入れて運用を行います。

世界新時代株式マザーファンド

世界は今、大きな変革期を迎えています。AIやIoT（物のインターネット化）などの新しいテクノロジーが医療、食品、エネルギーなど幅広い産業に浸透することで、革新的な製品やサービスが様々な分野で誕生する時代に入ったと思われます。当ファンドでは、特に顕著な変化として、「ライフスタイル」、「企業戦略」、「医療・健康」、「グリーンテッ

ク」に注目しており、中長期的な視点に基づき、ユニークな商品・サービス、ビジネスモデルにより競争に勝ち抜くと判断した銘柄に集中投資を行います。

米国では金融政策に注目が集まっています。トランプ大統領の通商政策がインフレ率や雇用に与える影響や、金融政策の不透明感が引き続き株式市場のボラティリティ（変動性）を高める要因となっています。

当ファンドではそのような変化の激しい投資環境の中でも着実に業績成長できる各テーマの勝ち組銘柄にグローバルで厳選投資を行っており、それらの銘柄は引き続き上昇する余地が大きいと考えています。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

交付運用報告書の電磁的方法による提供(電子交付)の推進について

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われました。受益者の皆さまへの交付運用報告書の提供に関する規定について、従来は書面交付を原則としていましたが、書面交付または電磁的方法(電子メールへのファイルの添付、販売会社等のホームページにアクセスして閲覧等)による提供のいずれかに変更されました。

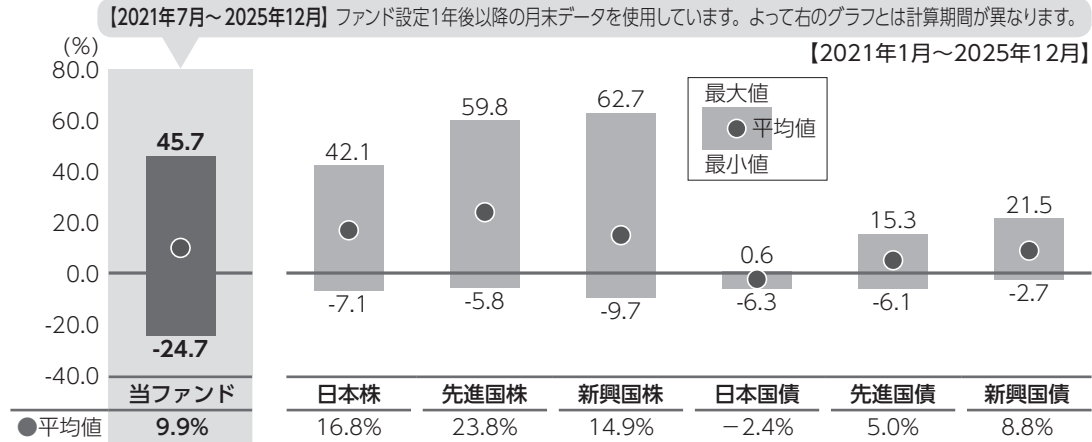
交付運用報告書を電磁的方法で提供することにより、書面の印刷および配送にかかる期間が短縮され、受益者の皆さまが、より早期に交付運用報告書をご覧いただくことや、時間や場所を問わずにご覧になることが可能になると考えられます。また、ペーパーレス化が推進されることにより、森林資源の保護や印刷・配送に伴う二酸化炭素の排出量の削減につながることを期待されます。

今後、電磁的方法による提供を実施することに関し、受益者の皆さまに事前告知等が行われますが、希望される場合には引き続き書面交付をすることも可能です。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法による交付運用報告書の提供を進めてまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

4 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式
信 託 期 間	2020年7月31日から2030年7月26日まで
運 用 方 針	マザーファンドへの投資を通じて、世界の取引所に上場している株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主 要 投 資 対 象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 世界新時代株式マザーファンド 世界の株式等
当 ファ ン ド の 運 用 方 法	■構造的な変化により成長が見込まれる分野で、高い競争優位性を有する世界の企業の株式に厳選して投資します。 ■企業の成長見通しや株価の割安度等の分析・評価を行い、銘柄を選定します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組 入 制 限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 世界新時代株式マザーファンド ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	■毎月26日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■原則として、各計算期末の前営業日の基準価額(支払済み分配金(1万口当たり、税引前)累計額は加算しません。)に応じた金額の分配を目指します。ただし、分配対象額が少額な場合、各計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、分配を行わないことがあります。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。
※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。
※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

	配当込みTOPIX (TOPIX (東証株価指数、配当込み)) 日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。
日本株	
	MSCIコクサイ・インデックス (グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
先進国株	
	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	
	NOMURA-BPI (国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他の一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しております。また、同社は、ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。
日本国債	
	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。同社は、当ファンドのスポンサーではなく、当ファンドの推奨、販売あるいは販売促進活動を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、同社は、当該データの正確性および完全性を保証せず、データの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。
先進国債	
	JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。同指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利はJ.P. Morganに帰属します。
新興国債	

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。
※上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

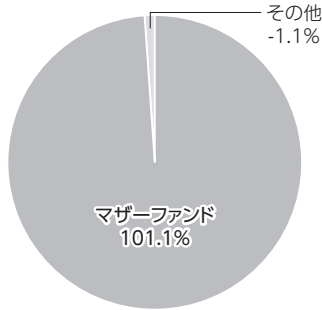
当ファンドの組入資産の内容 (2026年 1月26日)

組入れファンド等

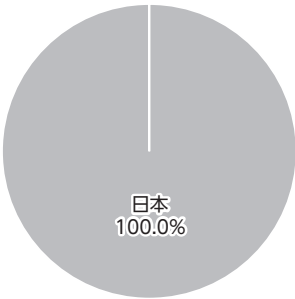
銘柄名	組入比率
世界新時代株式マザーファンド	101.1%
コールローン等、その他	-1.1%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

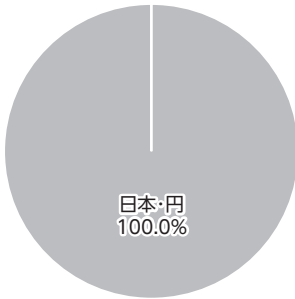
資産別配分 (純資産総額比)



国別配分 (ポートフォリオ比)



通貨別配分 (純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目		第61期末 2025年8月26日	第62期末 2025年9月26日	第63期末 2025年10月27日	第64期末 2025年11月26日	第65期末 2025年12月26日	第66期末 2026年1月26日
純資産総額	(円)	4,428,346,479	4,285,407,980	4,278,430,623	3,954,278,981	3,739,857,752	3,497,636,665
受益権総口数	(口)	4,003,036,593	3,797,560,602	3,668,578,928	3,510,470,439	3,310,445,590	3,233,001,982
1万口当たり基準価額	(円)	11,062	11,285	11,662	11,264	11,297	10,819

※当作成期における、追加設定元本額は67,227,452円、解約元本額は943,211,842円です。

組入上位ファンドの概要

世界新時代株式マザーファンド(2024年7月27日から2025年7月28日まで)

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

(単位：円)

項 目	(内訳)	金額 (内訳)	
売買委託手数料	(株式)	7	(7)
有価証券取引税	(株式)	0	(0)
そ の 他 費 用	(保管費用)	3	(2)
	(その他)		(1)
合計		10	

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

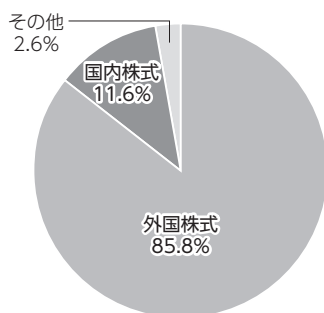
組入上位銘柄

(基準日：2025年7月28日)

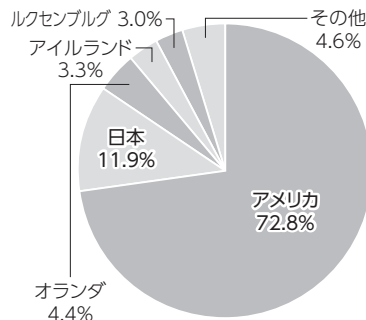
	銘柄名	業種	組入比率
1	NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	9.2%
2	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	6.0%
3	ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	5.6%
4	SERVICENOW INC	ソフトウェア・サービス	4.5%
5	FERRARI NV	自動車・自動車部品	4.3%
6	TRADEWEB MARKETS INC-CLASS A	金融サービス	4.2%
7	SYNOPSYS INC	ソフトウェア・サービス	3.7%
8	BROADCOM INC	半導体・半導体製造装置	3.4%
9	EATON CORP PLC	資本財	3.2%
10	CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	ソフトウェア・サービス	3.1%
全銘柄数		35銘柄	

※比率は、純資産総額に対する割合です。
※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

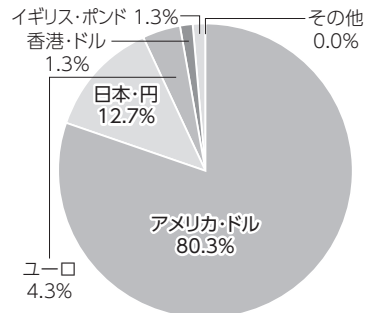
資産別配分（純資産総額比）



国別配分（ポートフォリオ比）



通貨別配分（純資産総額比）



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※基準日は2025年7月28日現在です。